

写真の町 通信号外05

第35回写真の町東川賞が発表されました！ 今年の受賞作家はどんな方達なのでしょう？ 東川賞の特徴を振り返るとともに、受賞作家を紹介していきます！

Vol.05

第35回写真の町東川賞

□東川賞ってどんな賞？

たくさん写真賞がありますが、賞によって、対象者や賞金、ノミネートの方法など規定はさまざまです。その中で東川賞の大きな特徴は次の3つ。

- ①日本初の自治体による作家賞である
- ②国内作家賞と新人作家賞の審査対象が過去3年
- ③日本であまり知られていない海外の優れた作家を紹介している

受賞作家の方々に作品を寄贈していただくのも東川賞ならではです！

□ほかにどんな賞があるの？

木村伊兵衛賞
その知名度や長い歴史から「写真界の芥川賞」「写真家の登竜門」と呼ばれることもあります。
このように写真家の名前を冠した賞はとっても多いです！

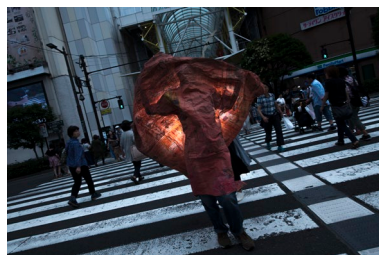
さがみはら写真賞
東川賞のように自治体が創設した賞です。写真家を顕彰する「プロの部」と写真愛好家が参加できる「アマチュアの部」があります。

日本写真協会賞
特徴的なのが国際賞と学芸賞。国際賞は海外作家ではなく、日本の写真文化のために国際的に功績のあった方が対象です。

など、たくさん写真賞があります。東川賞と比べてみるとおもしろいかも！

□今年の東川賞受賞作家！

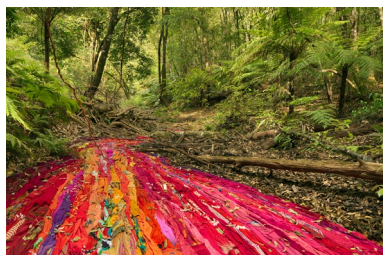
第35回写真の町東川賞受賞作家を紹介するとともに、作家を読み解くキーワードをご紹介します。



©SHIGA Lieko

国内作家賞 志賀理江子さん

第28回東川賞新人作家賞受賞作家。写真という枠にとらわれない作品発表をされています。現在は東京都写真美術館で展覧会開催中！（5月6日まで）



©Rosemary LAING

海外作家賞 ローズマリー・ラングさん

今年の対象国はオーストラリア。奥深い文化、歴史を持つオーストラリアのランドスケープをテーマに、さまざまな表現を融合した作品を展開されています。

□インストレーション

志賀さん、ラングさんについて調べると「インストレーション」という言葉に出会います。インストレーションの意味は「据え置くこと」や「設置」。場所や空間全体を作品とすることで、鑑賞よりも体験する芸術です。



©KATAYAMA Mari

新人作家賞 片山真理さん

モデルや歌手など、写真だけに留まらない表現で発信する作家。自身の体をかたどった立体作品や、セルフポートレイトの作品を作られています。

□セルフポートレイト

人物がテーマの中心の写真を「ポートレイト」、自分自身を撮影した写真のことを「セルフポートレイト」と言います。おなじみの「自撮り」や「セルフイー」も自分自身を撮影することですが、写真作品に対してよりも、スマホで撮影したもの、というイメージが一般的ですね。



©OKUYAMA Atsushi

特別作家賞 奥山淳志さん

これまで北東北の風土や文化をテーマとした作品を発表。北海道の原野にひとり暮らす開拓農民の丹念な撮影で表現されています。



©OTA Junichi

飛弾野数右衛門賞 太田順一さん

長年にわたり関西地方で撮影を続け、痕跡からその場所の風景や、何かを想起させる作品を、写しおさめるように撮られています。

□フォト・ドキュメンタリー

フォト・ドキュメンタリーとは演出を加えずありのままを記録した写真作品のこと。奥山さんや太田さんの作品や活動の経緯を「ドキュメンタリー」という言葉とともに紹介されているのを目にするかもしれません。

□審査会の様子・講評や、詳しい作家情報は、写真の町通信《本誌》をお楽しみに！
さらに8月4日（日）開催の受賞作家フォーラムでは作家さんたちの生の声でお話も伺うことができます。夏が待ち遠しいですね！

文化ギャラリー information

4/26（金）～6/12（水）
ルーク・オザワ写真展
「JETLINER ZERO GLORIOUS - 神業 - in ASAHIKAWA」

5/12（日）14:00～
ルーク・オザワ氏によるトークショー
*入館料のみでご参加いただけます

フォトフェスタや写真甲子園のフェイスブックやインスタグラムはご存知ですか？フォトフェスタや甲子園の情報ははじめ、さまざまな出来事を発信しています！ぜひいいね！やフォローをお願いします！



follow me!!



フォトフェスタ



写真甲子園